東アジア木版文化研究とデジタル・ヒューマニティーズの可能性

アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト
国際ワークショップ

予約不要
来聴歓迎

Session1
立命館大学ARCにおける東アジア文化資源研究とデジタルアーカイブ活動

Session2
講演

Session3
東アジア各国における木版文化研究

Session4: Discussion
質疑応答

研究交流の可能性とその基盤構築について

東アジア木版研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性について

2018. 2.28 水 10:00-17:30

3. 1 木 10:00-12:00

※両日とも 9:30 開場

立命館大学衣笠キャンパス
アート・リサーチセンター
多目的ルーム

［主催］ 立命館大学 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（日本文化資源のグローバルアクション）、立命館大学アート・リサーチセンター アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト
［助成］ 一般財団法人 橋本循記念会

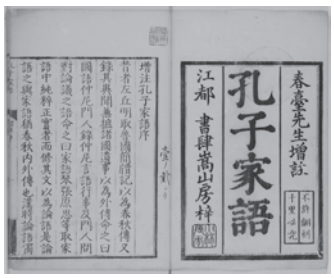
アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト（日本文化デジタル・ヒューマニティーズ研究拠点）では、立命館大学アート・リサーチセンター（ARC）で培われてきた日本文化デジタルアーカイブの手法や技術を、アジア圏の様々な文化・芸術研究に応用することで、新たな地平を拓くことを目的の１つとしています。

その一環として、今回は「東アジアの木版文化」をテーマとし、日本・中国・韓国・ベトナムから４名の先生方をお招きし、当該プロジェクトメンバーからも研究成果を報告する国際ワークショップを開催することになりました。各国の研究状況についてご報告いただくとともに、各国間でどのような研究交流が可能か、いかにその基盤を構築するか、現在および今後の研究においてデジタル・ヒューマニティーズ手法がどのように作用するかを議論することにより、研究交流のレベルを進歩させる機会となればと考えております。みなさまのご参加をお待ち申し上げております。

PROGRAM

※1 は韓国語、※2 は中国語による発表（両日とも、日本語・中国語・韓国語の同時通訳あり）

2018年2月28日（水）10:00-17:30



10:00-10:05　開会挨拶

10:05-11:05　**Session1**

立命館大学ARCにおける東アジア文化資源研究とデジタルアーカイブ活動

西林孝浩（立命館大学教授）「アジア圏文化資源研究開拓プロジェクトの概要」

金子貴昭（立命館大学准教授）「立命館大学ARCのデジタルアーカイブ活動」

11:05-11:50　**Session2　講演**

永井一彰（奈良大学名誉教授）「板木デジタル化の功罪」

11:50-13:15　昼休憩

13:15-17:30　**Session3**

東アジア各国における木版文化研究

韓禅学（韓国古版画博物館館長、韓国古版画学会会長）※1「東アジア古版画の収集と博物館の設立」

グエン トゥアン クオン（ベトナム社会科学翰林院漢喃研究院院長）※2
「ベトナムにおける仏書の板木―マイナーな資料群の保存提唱」

休憩（15分）

金子貴昭（立命館大学准教授）「日本の板木研究の現状とデジタルアーカイブの活用」

李増先（立命館大学専門研究員）「東アジアとヨーロッパをつなぐ和刻本漢籍」

休憩（15分）

翁連溪（故宮博物院研究員）※2「故宮博物院所蔵板木の現状と中国国内現存板木の調査」

2018年3月1日（木）10:00-12:00

10:00-12:00　**Session4: Discussion**

質疑応答

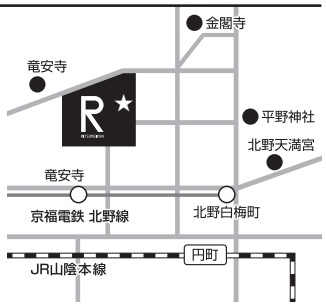
研究交流の可能性とその基盤構築について

東アジア木版研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性について

［表面］全て個人蔵　［裏面］上：立命館大学アート・リサーチセンター所蔵 arcMD01-0657　下：立命館大学アート・リサーチセンター所蔵 sakBK01-0090

立命館大学衣笠キャンパス　アート・リサーチセンター

ARTRESEARCHCENTER

〒603-8577　京都市北区等持院北町56-1　TEL: 075-466-3411（9:00～17:30）
http://www.arc.ritsumei.ac.jp

［問い合わせ］立命館大学　研究部　衣笠リサーチオフィス内　アート・リサーチセンター 立命館大学 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（日本文化資源のグローバルアクション）事務局／〒603-8577　京都市北区等持院北町 56-1／ TEL: 075-465-8476（9:00～17:30）／e-mail: arc-jimu@arc.ritsumei.ac.jp